

青少年課事業「遊び体験教室」引率のようす

○打ち合わせ

どのように小学生をまとめるのか、レクの内容は何にするのかなど、入念に話し合います。



○遊び体験教室事前研修で小学生の指導

初めて集まる小学生の緊張がほぐれるようにするアイスブレイクや班別ミーティングの進行、K Y T（危険予知トレーニング）をします。



○遊び体験教室当日

遊び体験教室の2日間の宿泊研修中は、ジュニアリーダーが小学生をリードします。

レクリエーション、野外炊事、キャンプファイヤー（キャンドルファイヤー）をとおして、参加者の絆を深めていきます。

①研修施設に到着し、最初のプログラムはジュニアリーダーによるレクリエーション。

小学生に笑顔が広がります。



② 2日間をどのように過ごすのかを班ごとにミーティング。夜の発表会に向けての練習も行います。



③ 野外炊事で夕飯のカレーを作ります。火の起こし方やご飯の炊き方を小学生に指導します。



④ 火が暮れてからのキャンドルファイヤー。さらに小学生を盛り上げます。
班ごとの発表（スタンツ）も小学生をうまくフォロー。



⑤ 2日目は海での活動「いかだチャレンジ」。小学生の安全を確認しつつ、ジュニアリーダーも楽しめます。



⑥バスでの移動中はバスレクを行います。



⑦茅ヶ崎に帰ってきて、最後に『チクサクコール』。
2日間をともに過ごした仲間との絆を大事にしたいと思います。



○反省会

良かったところ、直したいところ、しっかり反省して次の派遣につないでいきます。